

最初に、国内の経済状況についてでございますが、ロシアによるウクライナ侵攻や円安に伴う、原油価格などの物価高騰が続いており、今後の経済活動や家計への影響が懸念されているところでございます。

こうした中、国政においては、去る5月31日に、物価高騰対策をはじめとする総額約2兆7千億円の補正予算が成立しており、今後、経済活動の回復に向けた取組が進むものと考えております。

次に、新型コロナウイルス感染症についてでございますが、全国における感染者数は減少傾向となっており、重症者数は低水準となっております。

また、市内の1日あたりの感染者数についても、本年4月8日の85人をピークに減少傾向にあります。ワクチン接種については、3回目接種は、1、2回目と比較して若い方の接種率が低い状況でございますが、集団接種で優先枠を設けるなど、希望する方が接種しやすいよう利便性の向上に努めております。4回目接種につきましては、5月末より、順次、対象の方々へご案内を開始したところでございます。

こうした状況の中ではありますが、目指すべき都市像「元気あふれ 人がつながり 安心して暮らせる～誇れるまち『尾道』～」の実現に向けて、尾道市総合計画後期基本計画に基づくまちづくりがスタートしております。

この後期基本計画では、市民の皆様とともに「チーム尾道」として、シビックプライドの更なる醸成に向けた取組を展開し、尾道に住むこと、尾道で仕事をすることがステータスとなるようブランド力の更なる強化を図ることとしております。

また、3年ぶりに行動制限が緩和されたゴールデンウィークには、本年3月にリニューアルオープンした千光寺頂上展望台「PEAK」などの観光拠点に、多くの国内観光客も見受けられ、いよいよポストコロナに向けた日常への明るい兆しを感じております。

加えて先日、世界経済フォーラムが発表した2021年版の旅行・観光開発ランキングで、日本が初めて世界1位となるなど、海外からの日本に対する注目度が上がっている中、6月10日から、条件付きではありますがインバウンドについても、制限が緩和されております。

本市におきましても、これを追い風ととらえ、「人財」「資源」「広域拠点性」の3つの

『尾道オリジナル』を活かし、新たな価値と魅力の創造に挑戦してまいります。

それでは、御提案いたしております諸案件につきまして、総体的な説明を申し上げます。

まず、一般会計の補正予算案でございますが、主な内容としましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金によるコロナ禍における原油価格・物価高騰対応事業費、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種に向けた事業費、4月1日付の人事異動及び令和3年人事院勧告に基づく期末手当の減額に伴う、人件費の調整などをお願いしております。

主な事業としまして、原油価格・物価高騰の影響を受けている生活者・事業者の負担軽減のため、水道基本料金2か月分の免除に係る水道事業負担金、住居確保給付金または生活困窮者自立支援金を受給して、なお、支援を必要とする世帯を対象とした、生活困窮者応援給付金給付事業、食材費高騰に伴う学校給食会補助金の追加、登園自粛時の保育料減免事業、いきいきサロン等運営支援事業、公共交通事業者、運送事業者、漁業従事者、医療機関、障害者福祉事業所、介護サービス事業所、保育施設などに対する支援事業、電力使用料削減、ゼロカーボンシティ推進に向けた、事業所LED照明設置促進事業などをお願いしております。

これらのほか、職員退職手当基金積立金、御調町におけるデマンド型乗合タクシーの改善策検討を行うMaas社会実装計画策定委託料、生活困窮者自立支援金給付事業の期間延長に伴う事業費、久保・長江・土堂の各小学校の仮設校舎整備に伴う不動産取得税相当額の使用料、国庫補助内示等に基づく、漁港海岸保全施設整備事業、市道改良事業などの追加をお願いしております。

続いて、歳入の主な内容でございますが、負担金、使用料の減額のほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金をはじめとする国庫支出金の増減調整や、県支出金、市債などの追加を行い、財政調整基金繰入金で調整をしております。

次に、特別会計の補正でございますが、一般会計と同様に、主に人事異動及び期末手当の減額に伴う人件費の調整などをお願いしております。

その他、まちなか文化交流施設整備事業に係る工事請負契約の締結や本年10月から、子どもの通院及び入院に係る医療費の助成対象者を高校3年生まで拡大するための、尾道市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例案などの議案を提出しております。

先に申し上げましたとおり、新型コロナウイルス感染症による市民生活や、経済への影響が続く中、原油価格をはじめとする物価高騰対策が喫緊の大きな課題となっております。

社会・経済活動の回復に向け、国・県と連携しながら、この度の経済対策を含む必要な事業を着実に進めることで、この困難な状況を克服し、総合計画後期基本計画に基づく尾道オリジナルを活かしたまちづくりに「チーム尾道」で取り組んでまいります。

詳細につきましては、それぞれの担当者から説明をさせますので、よろしく御審議の上、御承認を賜りますようお願い申し上げます。

以上をもちまして市長の提案説明とします。

※本文は、口述筆記ではありませんので、表現などについて、実際の説明と若干異なることがあります。